

じんけん

啓発紙

2021年

通巻72号

だれもが幸せに



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、12月22日に掛川市生涯学習センターで開催を予定しておりました「ふじのくに人権フェスティバル」は中止させていただきました。参加を予定してくださっていた多くの皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

人権フェスティバルは開催できませんでしたが、講師の山本篤選手（東京2020パラリンピックへの出場内定）による人権講演動画（DVD）を作成しました。このDVD（56分程度）を当センターにて貸出ししておりますので、多くの皆様にご覧いただきたいをご紹介します。

も く じ

- P2 「企業と人権セミナー」「クローズアップ人権講座」講演概要
- P3～4 「人権」の大切さを伝えるキャラクター応募作品の紹介
- P5 「人権啓発指導者養成講座」講演概要
- P6 新着DVD・新着書籍のご案内



企業と人権セミナー 11月9日

静岡県男女共同参画センターあざれあ

「企業におけるハラスメント対策～企業活動と人権～」

栗田 勇 氏（栗田勇法律事務所代表弁護士/社会保険労務士）



県内の企業・団体などの代表者、人事・労務管理担当者、研修担当者等を対象に、「企業と人権セミナー」を開催しました。

〔講演概要〕

「えっ」と思うような明らかな事例が起きている。誰もがパワハラ対策は重要であると理解していても、少しでも減らす取組をしたい。

自分にできるのだから誰でもできるという錯覚は、行動の改善を求める指導ではなく、人格の否定につながることもある。自分は大丈夫という慢心があると、苦しいと言えない部下に気づきにくくなる。

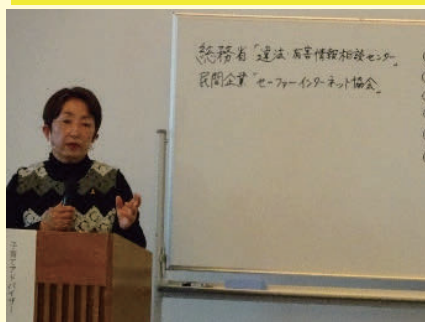
パワハラへの意識を高めるために、トップからのメッセージや研修を、定期的に、繰り返し行いたい。経営者や管理職に求められるのは、アンガーマネジメント、自制、慢心しないこと、そして、感謝である。誰にでも苦手なことやできないことがある。当たり前に行っているわけではないと感謝することが大切である。

クローズアップ人権講座 11月23日

静岡市東部勤労者福祉センター 清水テルサ

「インターネットと人権～トラブル回避と人権尊重～」

幸島美智子 氏（子育てアドバイザー）



テーマに関心のある県民を対象に、「クローズアップ人権講座」を開催しました。

〔講演概要〕

子どもたちの LINE いじめが問題となっているが、まずは親がやめるべきである。親や教師が「いじめは大嫌い」というメッセージを伝え続けることで、いじめを止められる子に育つ。子どもは生きる力をつける

ことで自立し、自分の人生は自分で切り開かせたい。親は腹をくくってほしい。

SNS の心ない書き込みについては、「自分がされたらどうか」と想像できるかが大事である。「これは卑怯ではないのか」と踏みとどまって、自分自身に恥ずかしくない生き方ができるよう、小さい時からの教育が必要である。

ネット依存の予防策は、外遊びなどの実体験と家庭でのルール作り。ポイントは①親が貸しているという認識②時間、課金の限度額の決定③使用していけない状況作り④ルールを貼る。見直す。守れなかった時の約束を決めておく。

「人権」の大切さを伝えるキャラクター 応募作品の紹介

今年度の人権週間(12月4日～10日)の人権啓発広報メッセージは、藤枝市出身の絵本作家マスダカルシさんが作成したオリジナルの動物キャラでした。テレビや駅のポスターでご覧になった方も多いと思います。コロナ禍の今だからこそ、もう一度意識し直したい心の持ち方を、動物キャラたちが紹介し、見た人のやさしさを呼び覚ましてくれました。

人権週間に合わせて、静岡新聞別刷り「YOMOっと静岡」で実施された「人権の大切さを伝えるキャラクターの切り絵募集」に、県民の皆様から様々な作品が寄せられました。マスダカルシさんが選んだ心温まる作品を紹介します。



自分から声掛け

「はなしてみたらいいおん」

藤枝市 増田美千代さん(60歳)

誰もが幸せに

「はーとふらみんご」

浜松市 縣 ひかるさん(7歳)





人と違っていい
「ちがいんこ」
袋井市
川合 凜さん（7歳）

ありのままで大丈夫
「だいじょうぶた」
袋井市
内藤 範子さん（50歳）



いじめをなくそう
「みんななかよしか」
藤枝市
石田 綾子さん（59歳）

作品提供 静岡新聞社 「YOMOっと静岡」12月6日掲載

コロナ禍で、誰もが不安を感じたり、心が疲れたりしています。ほんの少しだけ思いやりを意識して周りの人と言葉を交わしましょう、目を合わせましょう。あなたのやさしさを、隣の人が笑顔になるかも。

人権啓発指導者養成講座 1月12日

静岡県男女共同参画センターあざれあ

静岡県人権啓発センターでは、人権問題に対する正しい理解と認識を深めていただき、地域社会や職場、学校などで人権啓発活動を担う啓発リーダーを養成するため、静岡県男女共同参画センターあざれあにおいて、「人権啓発指導者養成講座」を開催しました。講義の概要を紹介します。なお、20日、25日の講座は、感染状況悪化のため、中止となりました。

講義1 『非行からの立ち直り（再犯防止）』 内田 桂子 氏（静岡少年鑑別所長）



犯罪自体は減少しているものの、「再犯」は増えている。服役後、孤立することなく社会の一員として生活できるよう、その人に合った支援を刑務所や地域の中で進めていかなければならない。そのために国民の理解が必要である。

「刑務所」では、受刑者は刑務作業をするだけでなく、再犯を防ぐ改善指導、就労のための支援、福祉的支援等を受けることもある。「少年院」は、家庭裁判所の審判によって保護処分として送致されたおおむね20才までの少年を収容している。家族関係や交友関係についての指導、薬物非行防止指導などの再犯防止のための指導のほか、就労や修学のための支援も行っている。

「少年鑑別所」の役割は①心理学の専門知識に基づき、非行や犯罪に影響した問題を明らかにし、改善のための指針を示すこと、②健全な育成に配慮し、規則正しい生活を送らせ、落ち着いた気持ちで審判を受けられるようにすること、③地域社会における非行・犯罪防止に向けた活動を行うことである。法務少年支援センターとして、地域の非行や犯罪の未然防止・再犯防止への貢献が重要な業務となっている。少年鑑別所に収容されている審判前の少年たちに対する様々な働きかけが更生のきっかけになることは多い。

講義2 『きみの当たり前と僕の当たり前～人権とは何か』 安池 中也 氏

幼稚園の頃から生まれた性に違和感を覚え、身体の性別を思い出してしまうため、自分の体を見ることはもちろん、自分の声を聞く事も苦しかった。高校入学時には、制服ではなくジャージでの通学を交渉し、実現した。願いがかなったのは制服だけだったが、性同一性障害という言葉もなかった時代、それでも先生方は向き合おうとしてくれていることは感じた。



社会に出て、人と挨拶さえ交わさなかったが、そんな自分を注意してくれる人がいた。真剣に自分を理解しようとしてくれていた。自分の周りにそういう人がいることを想像もできなかった。誰もが何かしらの生きにくさやマイノリティを抱えている。知っているつもりで外し、正しく知る、知りたいと思う気持ちが大切だと感じる。自分の努力ではどうにもならないこともあるが、その事実と向き合って生きていくことは誰も同じ。ランドセルの色、トイレ、制服。声をあげた人や向き合ってくれた人達のおかげで変わったこともたくさんある。一人ひとりの思いや小さな行動の積み重ねで社会や未来は変えていけると信じている。

人権啓発センターライブラリーからのご案内

☆ 新着DVD

名 称	内 容
みんなで考えるLGBTs ①【中学・高校向け】 // ② //	①いろいろな性 ～好きになる性～ ②いろいろな性 ～心の性・表現する性～
はじめて学ぶLGBTs ①【小学校低学年～中学年向け】 // ②【小学校低学年～中学年向け】	①男らしい色？女らしい色？ ②好きになってはいけないの？
LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ①【教員向け】 // ② //	①危機管理としての授業の必要性 ②当事者に寄り添うために ～教育現場での落とし穴～
桃色のクレヨン 【アニメ 小学生向き】 (文部科学省選定)	思いやりの心の大切さに気付いていく姿をテーマにしており、子どもと大人が一緒に見て楽しめ、心温まるお話。
プレゼント 【アニメ 小学生向き】 (文部科学省選定 優秀映像教材選奨)	子どもたちがいじめについて考えることにより、自分や他の人の人権の大切さに気付いてもらいたい。
無意識の偏見が招く パワーハラスメント	パワーハラの具体的な事例や背景にある「無意識の偏見」について解説。パワーハラ予防につなげる。

☆ 新着書籍

- ・デコちゃんが行く 袴田ひで子物語 (編者いのまちこ 漫画たたらなおき)
- ・「ボケたくない」という病 (和田秀樹著) ・アンガーマネジメント入門 (安藤俊介著)
- ・ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー (ブレイディみかこ著)
- ・ドラえもん論 (杉田俊介著) ・13 ハンセン病療養所からの言葉 (石井正則著)
- ・ケーキの切れない非行少年たち (宮口幸治著) ・教育格差 (松岡亮二著)
- ・しつけと体罰 (森田ゆり著) ・障害者差別を問いなおす (荒井裕樹著)
- ・いじめ 14 歳の Message (林慧樹著) ・いじめを本気でなくすには (阿部泰尚著)
- ・「いじめ」や「差別」をなくすためにできること (香山リカ著)
- ・炎上CMでよみとくジェンダー論 (瀬地山角著) ・おとめ六法 (上谷さくら 岸本学著)
- ・仕事と家庭は両立できない？ (アン＝マリー・スローター著)
- ・ひきこもりのライフストーリー (保坂渉著) ・アーモンド (ソン・ウォンピョン著)
- ・モヤモヤそうだんクリニック (文池谷裕二 絵ヨシタケシンスケ)
- ・百まいのドレス (エレナー・エステイス著) など

このほか、DVD、書籍等多数揃えています。ホームページもご覧ください。



☆ 貸出に際しての留意事項

貸出申請	所定の様式 (ホームページよりダウンロード可能)
貸出数	書籍…1回につき5冊以内 DVD・ビデオ…1回につき3本以内
貸出期間	2週間以内
受付時間	月曜日から金曜日 9:00～17:00 祝日、年末年始(12/29～1/3)は除きます。
	※ご希望の資料が貸出中の場合もありますので、事前にお問い合わせください。TEL054-221-3330
	※ライブラリー閲覧スペースにて、視聴も可能です。
	※郵送等による貸出は、返却時の送料のみ利用者負担となります。

令和3年3月発行

(令和2年度法務省委託事業)

静岡県健康福祉部福祉長寿局地域福祉課人権同和対策室 (静岡県人権啓発センター)

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館内

ホームページはこちら▶



TEL 054-221-3330 FAX 054-221-1948

email jinken@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県人権啓発

検索